



田尻さくら通信



宮城県田尻さくら高等学校 〒989-4308 大崎市田尻沼部字中新堀 137 <https://tajiri-hs.myswan.ed.jp>

生活体験校内発表会

7月30日(木)に、生活体験校内発表会を行いました。

今年はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から、校内LANを利用したリモート形式での実施となりました。例年とは異なる空気感での開催となりましたが、5名の発表者は過去の体験や現在の自分、これからの自分について、堂々と発表することができました。

7人の先生方による審査により、最優秀賞は3年次のK. Kさん『友達』となり、宮城県大会への進出が決定しました。“おめでとうございます！ 県大会でも良い評価を得られる事を期待しています。”



3年次 K. Kさん



3年次 T. Yさん



3年次 E. Nさん



2年次 A. Nさん



2年次 M. Yさん





さくら文化講演会

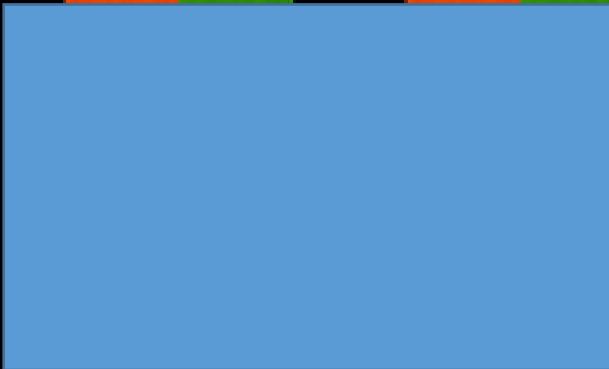


令和2年7月16日(木) 5・6校時、本校講堂において、2年次生を対象とした『さくら文化講演会』が行われました。今年度は『笑ってなまってコミュニケーション』という演題で、落語家の六華亭遊花(ろっかていゆうか)さんに講演をいただきました。慣れない落語の会場で、表情も硬く反応も薄かった生徒達でしたが、東北の方言を扱った遊花さんとのやりとりの中で、徐々に笑い声の溢れる会場へと変化していきました。その後は、『転失気』という落語を聴き、笑顔のまま講演が終了しました。

講演後は、T. Tさんが花束を贈呈し、K. Yさんがお礼を申し上げました。

《感想より抜粋》今日の落語では、とても楽しい時間を過ごすことができました。特にすごいと感じたのは、遊花さんの技術でした。戸をたたく時の音を、台をたたいて表現したり、登場人物の一人ひとりの表情が細かく表現されていて、とてもすごかったです。また機会があったら、見てみたいです。(2年男子)

はじめ、方言についての話をしていたのに、いつの間にか落語が始まっていて繋ぎ方に驚きました。私は週末にやっている『魅知国寄席』をよく聴くのですが、本物の六華亭遊花さんのお声を聴いて、やはり生の落語はいつもの何倍も面白く感じられました。機会があったら、また生で聴きたいです。『転失気』の話は、知ったかぶりをするといつか恥をかくという教訓がひしひしと感じられて、私も気をつけようと思いました。東北なまりは自分が知らない言葉も多く、方言が徐々に失われつつあるのかとも思いました。今日はとても楽しかったです。ありがとうございました。(2年女子)



.... 卒業生の声

7月8日(水) 卒業生2名が母校に...
(Aさん、Sさん)



二人は2015年4月に入学し、卒業後は就職して、それぞれの道で活躍しています。Sさんは造園業で芝生を担当し、今では芝生の種類や植え方について詳しくなり、毎日充実した日々を送っているそうです。Aさんは、家業の自動車関係の貿易業に携わっていて、卒業してから沖縄県で生き生きと働いていました。今回は自動車免許取得のために宮城県に帰ってきました。二人とも活躍の場は違いますが、今がとても楽しく、その瞳に輝きを感じました。頑張れ卒業生!



編集後記：短い夏休みを経て8月を終え、今年も残り4ヶ月です。落ち着いた日々を早く取り戻したいです。

TEL 0229-39-1051

FAX 0229-39-1050